

学報

スポーツ文化の風を発信する

NITTAIDAI

30

2012. Winter



スポーツを支える力

特集■スポーツを支える力

学長エッセイ「スポーツを支える力」—— 1

トレーナー、マネージャー、アナリスト

教育ディレクターとして活躍する学生・卒業生 —— 2

海外研修報告 —— 9

寄付金募集について —— 11

クラブ情報●2011年度下半期クラブの主な大会成績 —— 13

INFORMATION●dot.NITTAIDAI —— 15

スポーツを支える力

2012年はオリンピックイヤー。

また、今冬に東京・世田谷キャンパス新校舎が竣工する。

日体大の新たな歴史を刻む年となることであろう。

学生、教職員、卒業生、保護者の方々。日体大とスポーツを愛する

すべての力が一つになって、その歴史は創られていく。

アスリートのパフォーマンスを支えるスペシャリストたち。

試合や練習を裏方で支えるマネージャー。応援してくださる人々。

こうした「チャンスメーカー」の存在を忘れることはできない。

今回の特集では、日体大としてスポーツを「支える力」にスポットをあて、

スポーツにかかわる多彩な領域で活躍している人たちを紹介する。

力を発揮する場はフィールドに限らない。

さまざまな可能性に目を向け、飛躍の年にして欲しい。

学長エッセイ

スポーツを支える力

—日体大卒業生たちの偉業—



日本体育大学
日本体育大学女子短期大学部

学長 谷釜了正

国民体育の振興を担って120年にならんとする

歴史を刻んできた本学は、いま、戦後日本のスポーツを支えてきた幾万もの指導者を輩出してきたことで知られます。これによって本学には高い評価が与えられています。中学・高校・大学・社会人による各種スポーツの全国大会において本学の卒業生が指導者として指揮を執っている姿を容易に目撃することができます。そうした先輩たちのほとんどは保健体育の教師として競技者の育成に携わっていますが、スーパーコーチャーであるだけではなく、スーパートレーナーであり、スーパーマネージャーでもありますので、それらすべての役割を担いうる優秀な教師であるといわねばなりません。

そのような卒業生のすべてがスーパーアスリートであった訳ではありません。学生時代に学友会運動部の主務としてその業務を担ったり、マネージャーとして練習や試合の環境を整えたり、トレーナーとしてプレーヤーのケアをした経験者で

した。学生時代の経験はとても大切です。

本年はオリンピックイヤーです。イギリスはロンドンで夏季オリンピックが7月に開催されます。その日本選手団を構成する選手のほとんどはどこの時点で本学の卒業生の指導を受けているといつても過言ではない、と私は自負して良いと思っています。国民スポーツの振興を底辺で支えつつ、タレントを発掘して世界レベルの選手に育て上げる役割を、卒業生たちは担ってきたからです。本学関係者がオリンピックメダルを108個も獲得していますが、これは日本選手が獲得したメダルの実に四分の一を占めています。この偉業のほかに地道な本学卒業生の功績があることはいうまでもありません。本学が社会から高い評価を得ているのはそんな卒業生たちに負うところが大きくも大きいのです。

年頭に当たって現役の学生の皆さんも、この先輩たちの戦列に加わるべく、自身を磨き、日本の「スポーツを支える力」になることを期待します。

● 日体大で初めて知った 「アナリスト」

入部してすぐ、根本監督からアナリストをやってみないかと言われた時、何をやるのだろうとすごく興味を持ちました。それから勉強してみたいと思うようになったのです。パソコンもまったく初心者だった私が、今はプロリーグのお手伝いをするまでになりました。

アナリストの仕事は、まず、試合を撮影したビデオを見ながら、選手やボールの動きをパソコンに入力します。さらに、専用ソフトを使って図表化。このデータを分析し、次の試合に向けて作戦を提案していくわけです。例えば、ある選手の返球率が低ければそこを狙おうとか、この選手はアタック数が多いからブロックはこう動こうとか、こうしたコメントを見やすいようにフォーメーションを図で表した「ワークシート」に書き込みます。

試合が終わってから、監督・コーチ・選手たちのミーティングが始まるまでの短い時間が勝負。時には試合中にインカムを使って、監督やコーチに情報を提供することもあります。

● 選手の動きが自然と浮かんできてくる

具体的には、誰がどの方向にボールを打って、誰が返球したか、というような動きを、パソコンに入力します。フリーはバレーの醍醐味ですが、一試合分すべてを入力するのは大変。集中力や忍耐力がいる作業です。

ところで、一試合分を入力するのにどれぐらい時間がかかるでしょうか？私の場合は、試合時間と同じ。つまり、試合を見ながら同時進行で入力できるようにしました。ここでトスがかかるだろうなと思っていると本当に上がる。そんなイメージまで浮かんできます。もちろん最初は試合の何倍もの時間がかかっていました。まず、サーブだけをリアルタイムで打ち込んでみよう、それができるようにになったらアタックも、というように練習を重ねてきたのです。途中で眠くなったり、手が痛くなったり。でも、一つひとつできるようになると楽しくなっていて、どんどんはまっています。

● アタックが決まると自分のことのように嬉しい

部には、シーズン毎に過去のデータが蓄積されています。また、他大学同士の試合も情報収集に行くことがあります。情報が多ければ多いほど、分析が正確になります。目で見ただけではわからない選手のクセまでデータは教えてくれる。データの力はすごいんです。

ビデオの前で始まる、私の戦い

◎ 女子バレーボール部 アナリスト 小亦 美紀さん

多いほど、分析が正確になります。目で見ただけではわからない選手のクセまでデータは教えてくれる。データの力はすごいんです。相手エースの打ちやすい方向をビデオやデータで分析して、それを選手たちに伝える。その結果、見事にブロックする。そんな瞬間は思わず「やったー」と叫びそうになります。チームに貢献している、必要とされているという実感が、アナリストのやりがいです。

逆に、データのせいで負けたんじゃないかと落ち込むこともあります。そんなことがないと選手の方々は言うてくださいます。チームとして試合に負けたことはもちろんですが、相手のデータの方が優れていたのかもしれないと思うと、それが悔しいんです。コート外の選手たちと同じように、私たちアナリストも熱い戦いを続けています。

● Vプレミアリーグでプロの舞台に挑戦

昨シーズン終了後から、Vプレミアリーグ「パイオニアレッドウィングス」でアナリストをさせていただいています。プロ選手はデータに関する知識が豊富で、アナリストの存在をすごく重視しています。これからますます必要とされる役割だと実感しましたね。また、1年生の時に参加した日本バレーボール協会アナリスト育成セミナーでは、全日本代表アナリストの指導を受ける機会がありました。プロのレベルを知ることができたし、他大学のアナリストとも交流ができてとても良かったです。こうした経験を通して、アナリストの立場で、今後ますますバレーに関わっていきたいと強く思うようになりました。

これからは、入力や分析の正確さをさらに高めることはもちろんですが、それをチームのメンバーに伝えるためのプレゼン力も上達させていきたいです。興味があつて、学びたいという思いがあれば、誰でも活躍できる仕事だと思います。



現在女子バレーボール部のアナリストは、小亦さんを含めて2名。ビデオ機材を持って試合に行き、戻ってからすぐに分析に取りかかる。特にリーグ戦の季節は目が回るほどの忙しさだとか。

PROFILE

バレーボール部(女子)
アナリスト
短大体育科2年
小亦 美紀
(こまた みき)

長野県出身。小学校4年生からバレーボールを続ける。中学はバレーで有名な堀花中学校(長野市)へわざわざ転校したほど。大学からアナリスト専属になったが、データバレーにどんだんはまっていたという。



●チームの仲間のために 役に立ちたかった

出身校は甲子園出場実績のある高校。野球部に入学しましたがレベルが高く、試合で活躍する場面はなかなか訪れませんでした。それでもチームメイトのために何か役に立つことがしたいと思い、トレーナーを志すようになり、チームワークが県内一と評判の部だっただけに、その思いがいつそう強くなり、さっそく本を買って勉強、選手に実践するようにしました。

大学もアスレティックトレーナーになるための勉強ができることを念頭に置いて選びました。日体大は、私たちが入学する年から「アスレティックトレーナー専攻」が開設されたこと、そして「トレーナー研究会」があったことが決め手でした。とは言え、入学してから、野球部に入学しようかと悩んだこともありました。しかし、将来のことを考え、トレーナーとして選手に関わりたいと決心しました。

●プロ集団「トレーナー研究会」とは

トレーナー研究会に入学すると、まずアシ



スタントとして、アイシング、ストレッチング、テーピングなどの基本を習得します。その後、先輩のチェックを受けて、各運動部の専属となって活動します。最初はみんな初心者。練習すれば誰でも必ずできるようになるはず。

私は現在アイスホッケー部とともに活動しています。以前は、硬式野球部で主にメディカル面のサポートを担当していました。新たにトレーニング指導に携わるようになり、技術や知識の幅が広がりました。アイスホッケーは夏がオフシーズンであり、暑い時期にトレーニングをどう行うかなど、選手のコンディショニングを常にチェックしながらメニューを考える必要があります。痛みを抱えグラウンドで動けない選手が、氷上ではスムーズに動けることも。怪我の種類や原因も競技によって異なりますので、さまざまな現場に触れることはとても良い経験になります。

●一番のやりがいにはチームが勝つこと

硬式野球部を担当していた際、ドラフトで中日ドラゴンズ4位に指名された辻孟彦投手が「ストレッチをやってくれ」とたびたび声

トップアスリートと同じ舞台で活躍できる喜び

●トレーナー研究会 原田 明典さん

をかけてくれ、とても励みになりました。今年、首都大学野球春季一部リーグ優勝を果たした時は、すでにアイスホッケー部の担当となっていました。学内で伝えられる速報を見ながら、まるで球場にいるような気持ちで応援していました。

アイスホッケー部の選手たちも、トレーナーを信頼し、積極的にトレーニングメニューに取り組んでくれています。トレーニング指導という未経験の領域に自分なりの覚悟をもつて挑戦してきただけに、今後の試合が楽しみです。トレーニングの成果が現れてきた、動きが良くなった、などと言われるとトレーナー冥利につきます。選手とトレーナーには確かに相性もありますが、どの選手にも満足してもらええるサポートができるよう技術を磨いていきたいと思います。

●コミュニケーション能力が不可欠

監督・コーチと選手との仲介役を務めるのもトレーナーの役割です。選手は不調を隠しがち。相談があれば、私情を交えず報告しなければいけません。そのまま放置し、試合に出て故障がひどくなったら、選手にもチーム

にも、取り返しがつかないことになります。トレーナーの報告、判断がチームを左右すると思うと、重い責任を感じます。選手を観察し、不調や変化に気づいたら声をかけることも重要。監督・コーチ、選手の双方から信頼を得るためにもコミュニケーション能力が不可欠です。

私は日米大学野球選手権大会の選考合宿に帯同させていただいたことがありました。トップアスリートと同じ舞台に立つことができるのがトレーナーの魅力です。目標はプロトレーナー。AT専攻の学生として、日本体育協会公認アスレティックトレーナーの資格は絶対取得したい。さらに柔道整復師等の医療資格にも挑戦するつもりです。



日体協AI資格試験(検定・審査)はトレーニング科学、スポーツ医学等の多岐にわたる分野から出題される「理論試験」と「実技試験」からなる。合格率が10%を下回る(適応コース受験者)とも言われる難関の試験。

PROFILE

トレーナー研究会
主将
体育学科3年
原田 明典
(はらだ あきのり)

静岡県出身。小学校4年生から高校まで野球を続ける。ピッチャーを務め、中学では主将を任される。野球へのこだわりはあるものの、トレーナーになって、さまざまな競技の楽しさを知ることができたという。



●日体「駅伝」の襷をつなぐために

もう走れない。主務の打診を受けたとき、悩みました。それでも、部の伝統を守るため、「小山だったらついていける」と言ってくれた仲間のため、引き受ける決意をしました。

陸上競技の魅力はシンプルさ。タイムというわかりやすい結果がすべてです。しかし、駅伝は時としてそれを超えるものがあります。何が起るかわからないという意外性。何としても襷を渡さなければいけないという選手の高い使命感そして沿道の熱気ある応援、それらすべてが一体となってドラマを生むのです。

毎年、箱根駅伝をはじめ、全国各地で行われる大会に、OB・OGをはじめ多くの方々が応援に集まってくださいます。また、応援メッセージも多数いただきます。お礼状を送ることも主務の仕事ですが、その数は1000通以上。感謝の気持ちを常にもって、業務に励んでいます。

●マネージャーは忙しい

監督・コーチの意思を選手に伝える。選手

の声を代弁する。パイプ役となり、チームを一つにまとめることが、マネージャーの最も大事な仕事です。責任者が主務で、ほかにマネージャーは8名。そのうち、合宿所で選手と寝食をともにする男子は3名。風呂に入りながら、選手から相談を受けることもあります。

そのほか、タイム計測や記録データの分析・管理、日体大長距離競技会の運営、大会や合宿の手配・準備、会計など、仕事はさまざま。例えば、大会があればエントリー等の手続はもちろん、当日寮を出発してから大会終了までの綿密な行動計画を作ります。また、選手のモチベーションをアップするために、記録データを集計し、定期的にランキングを発表しています。練習終了後から点呼までが、事務作業の時間。時には点呼時間を過ぎてパソコンに向かうこともあります。

●全員で戦う、それが駅伝

箱根駅伝であればメンバーに選ばれるのは16名。実際に区間を走るのは10名。エントリーできなかった選手、また怪我や不調に悩む選手に対してどう接するか。一人でも気持ち

チームを引っ張るもう一人のランナー

◎陸上競技部 駅伝ブロック 小山 兼司さん

ちが離れてしまえば、チームはマイナスの方向に向かっってしまう。主務として、主力選手ばかりでなく全員にできる限り声をかけ、全員で戦っていくんだという気持ちを失くせないよう心がけています。スランプに陥っている選手に対しては、今できること、やらなければいけないことを一緒に考え、少しでも前に進んでいけるようアドバイスしています。

選手が自己ベストを記録した時は、自分のことのように嬉しく思います。特に、秋口は記録ラッシュ。「記録を狙えるぞ」と、練習中の選手にかける声が入ります。選手とともに私も走っている。常にそんな気持ちで練習や大会に臨んでいます。

●マネージャーがチームを作っていく

マネージャーは単なるサポート役ではありません。生半可な気持ちではできない仕事です。どの競技でも同じだと思いますが、部の運営、チームの雰囲気作り、あらゆる面において、マネージャーは大きな責任を担っています。自分が動かないとチームが動かない。マネージャーがチームを作っていくんだという

強い使命感が必要です。

4年間主務を務め、選手の立場とはまた違う貴重な勉強をさせていただきました。業務をマネージャー同士でいかに分担していくか。人を動かす難しさも知りました。人に対する礼儀はもちろん、文書の書き方、交渉の仕方など社会常識も身につきました。得るものが本当に大きかったと思います。

将来の希望は教員になること。主務を経験したからこそ、生徒に伝えられることがあると思います。競技、チームの選手たちをさまざまな角度から見ること、視野が大きく広がりました。



朝練、授業後の本練習とともに、選手たちと行動をともにする。信頼感があればこそ、選手たちに厳しい指摘をすることができる。「小山さんに付いて欲しい」と、自分を慕う後輩の言葉が嬉しい。

PROFILE

陸上競技部
駅伝ブロック 主務
体育学科4年
小山 兼司
(おやま けんじ)

青森県出身。日体大OBで教員を務める父親の影響で、小学校4年生から陸上競技（長距離）を始める。全力を振り絞って襷と襷、汗と汗をつなぐ。駅伝をこよなく愛する気持ちは誰にも負けない。



●偶然の出会いからトレーナーに

高校時代、漠然とリハビリに興味があった。理学療法士になりたいと思っていた。でも、スポーツが好き。そこで日体大出身の顧問の先生に相談すると、トレーナーという道を教えてくださったのです。両親も応援してくれ、気持ちが変わりました。

日体大では、高校まで続けてきたバレーとは違うスポーツに挑戦してみたいと思っていました。他大学と合同のサークルに顔を出してみました。どこか心惹かれるものがない、どうしようかと迷っていました。そんな時、昼休みにたまたま声をかけてくださったのが、アメフト部のトレーナーの先輩だったのです。トレーナーができると思って楽しみに見学に行ったところ、ぶつかり合う大きな男性選手の姿が。正直、最初は驚きましたが、選手によつていろいろなテピングの巻き方があるのがすごく面白く、また先輩も熱心に勧誘してくださったのでトレーナーとして入部することに決めました。

●選手たちがアメフトに集中できるように

練習、試合、合宿など、部員たちと行動を共にし、怪我の対応や予防、トレーニングのサポートなどを行っています。動きの激しいアメフトは首の怪我が多いのが特徴。ストレッチやネックトレーニングを取り入れたりして、予防に努めています。また、フィールドに怪我のもととなるものが落ちていないか確認するなど、安全で選手が練習に集中できる環境を整えることもトレーナーの役割だと思っています。

自分から「痛い」と口に出さないのでアメフト部の伝統「痛い？」と聞けば、絶対に「痛くない」と答えます。でも「どうしたの？」と声をかけると、倒れたりぶつかったりした時の状況を話してくれるんです。それを聞けば、どこを痛めたのか推測できます。こうしたかわり方は先輩を見て学びました。テピングを巻きながら会話をしたり、痛そうな表情をした選手にこちらから声をかけたり、日頃のコミュニケーションを心がけています。

●心優しい男たち

私はテピングに興味を持ってトレーナーを務めるようになりましたので、先輩から



男たちの戦いを支える技術、ハート

◎アメリカンフットボール部 トレーナー 笹川 千紘さん

次々に新しい巻き方を教えていただけるのがすごく楽しかったです。1年生の時は、部のOBが開いてくださる勉強会に参加したり、選手たちに協力してもらって数えきれないぐらい練習しました。選手によつて、本数や巻き方が違ったり、きつく緩くなどのいろいろな注文があります。一番しつこくなるね、などと言われることもうれしいです。

ふだん激しい試合や練習をしている選手たちですが、マッサージ後に「ありがと」と声をかけてくれたり、忙しそうにしていると「手伝おうか」と気を遣ってくれたり、優しい人たちがばかり。今年、4年生が引退する試合で、自分の道具に名前を書いてくれと言ってくださった先輩がいました。君たち学生スタッフはプレーすることはできないけれど、一緒に戦いたいからと。感激しました。

●大切なのは選手の役に立ちたいという気持ち

選手のために何かをしてあげたいという思い。それがあれば十分。トレーナーの技術や知識は後から勉強することができます。トレーナーやマネージャー志望で部の見学にき

て、週6日練習あることを聞いて諦めてしまう人もいますが、やはり残念です。選手と一緒に過ごせるからこそ楽しい。私はシーズンオフになると何をしていたかわからず、寂しくなってしまうことがあります。

進路はまだはっきりと決めていませんが、できるなら人とかかわる、人を支える仕事に就きたいと思っています。日体柔整専門学校で柔道整復師の資格を取得したり、あるいは最初の目標に立ち返って理学療法士を目指したり、さまざまな可能性を検討しています。その上で、アメフト部での経験が大いに役立つことは間違いありません。私のスポーツや人に対する考え方を大きく広げてくれました。



笹川さんは今年からマネージャーの仕事も兼ねるようになった。トレーナー、マネージャーともに4年生はいない。スタッフの立場でチームをまとめていなくてはならない。いっそう重い責任を感じているという。

PROFILE

アメリカンフットボール部
トレーナー
体育学科3年
笹川 千紘
(ささかわ ちひろ)

新潟県出身。両親の影響で、小学校3年生からバレーボールを始める。日体大では、始め短大体育科に入学。編入したのは、アメリカンフットボール部のトレーナーを続けたいという気持ちもあったからだとか。



●高校時代からトレーナー一直線

親族に医者が多く、自分も中学生くらいまでは医者になりたいと考えていました。その一方で、スポーツに関する仕事にも興味がありました。医者としてスポーツの2つの接点からトレーナーであることを知り、高校時代からトレーナーに憧れ、日体大に進学したわけです。1年次はソフトボール部に所属していましたが、しかし自分が目指したトレーナーになるために退部し、2年次からはトレーナー研究会に入って本格的に勉強を始めました。その後、トレーナーとしてソフトボール部に戻り、選手のケアに携わる機会を得ました。当時は学内でトレーナーとして活動している人が少ないこともあり、他の競技の選手のテーピングなども手伝っていました。ソフトボール部での仕事に加え、トレーナーになるための勉強もしなければならぬので忙しい毎日を送っていました。

●メンタルのケアも仕事の1つ

卒業後、すぐにスポーツ現場の仕事をするのはなかなかむずかしいこと。そこで、永井正之先生(ながい接骨院院長・P8掲載)の

もともと働きながら専門学校に通い資格取得を目指しました。

大学卒業後3年目に富士通の女子バスケットボール部でお仕事をする機会をいただきました。永井先生も応援してくださったことを覚えています。それからバスケットボールの特性を必死に勉強。今は選手のコンディショニング管理はもちろん、ドクター、理学療法士と連携しながら医療面全般を管理しています。

トレーナーは選手と接する時間が一番長いので、フィジカル面はもちろん、メンタル面のケアも求められます。選手の言葉の中に迷いや不安があればそれをしっかり聞き、ときにはコーチに伝えてチーム力維持に役立てています。特に、女子選手の場合は心の問題がプレーに出やすいように感じます。いろいろな話を気兼ねなく話せるのが、女性のトレーナーの強みだと思います。

●プレッシャーを楽しむ

わたしの役割は選手を万全な状態でコートに送り出すことです。そのために、まずわたしが富士通女子バスケットボール部のトレー

意志の強さでチャンスをつかみ取れ

◎ 富士通女子バスケットボール部 "RedWave" チーフトレーナー 杉原ちぐささん

ナーになつて目指したのは、選手のセルフコンディショニング指導です。もちろん優秀な選手がそろっているのが、意識の高さも影響していると思いますが、毎年成長していく選手たちを見ると、非常に達成感を感じます。

選手のセルフコンディショニングや、日々のケアがわたしの仕事ですが、練習中や試合中にアクシデントでケガをすることもありますが、選手が辛いリハビリを乗り越え、快復して再びコートで活躍するのを見るのも自分の仕事の意義を確認できる瞬間です。

トレーナーの仕事は、皆さんの想像以上に忙しい仕事です。実業団のトップチームなのでプレッシャーも大きいです。でも、今ではそのプレッシャーを楽しむようになっていました。

●強い意志を持つこと

トレーナーは狭き門であることは間違いないと思います。資格があればトレーナーになれるわけではありません。資格や技術はあっても当たり前です。現場ではコーチや選手などの意見を聞きながら、自分の意見もしっかり伝えていかなければならないので、コミュニケーション能力や協調性も非常に重要ですよ。



マナーショウの渡瀬奈々子さんは日体大の卒業生。日体大はリーダースhipを發揮する人が多く、みんなモチベーションが高いので、自分もやる気に火がつきます。



PROFILE

富士通女子バスケットボール部
"RedWave"チーフトレーナー
杉原 ちぐさ
(すぎはら ちぐさ)
2002年健康学科卒業

卒業後にながい接骨院に勤務。専門学校在学中の2004年に、富士通女子バスケットボール部のトレーナーに就任。常に選手のベストな状態を保つようケアと研究を続けている。選手にとってフィジカル面だけでなく、精神的にも頼れる存在である。

でも一番大事なのは自分がトレーナーになりたいという強い気持ちだと思います。その気持ちがあれば睡眠時間を削ってでも勉強するでしょうし、技術を身につけようとするでしょう。そしてトレーナーになりたいという気持ちを強く持ち、どんどん現場に出ていく、勉強しながらチャンスを掴んでもらいたいと思います。

今後はトップチームで培った、ケガをしない体づくりやトレーニング方法などの知識をジュニア世代にも広めていきたいですね。

●トップアスリートであると同時に「社会人」として

北海道日本ハムファイターズのファームおよび育成選手が活動する千歳県鎌ヶ谷市の勇翔寮の寮官として若手選手の育成を行っています。具体的には、おもに高卒若手選手に対し、「常識ある「社会人」への成長を促すために、日常生活はもちろん、法務や財務など選手たちのセカンドキャリアまで見据えた教育プログラムを作成、実践しています。

プロ選手になることそのものも狭き門ですが、長年に渡って活躍できる選手はさらに一握りです。もちろん、一軍で活躍することがなにより願いますが、そのような厳しい現実があることを若い選手たちに理解させることも、いま出来ることを全力で取り組むことの大事さを選手たちに伝え続けています。トップアスリートであると同時に、社会人としても素晴らしい人間になって欲しいという気持ちを持って、日々仕事に取り組んでいます。

●常に本気。そこが指導の原点。

すべての選手が順調に成長するわけでは



なく、少なからず壁にぶつかります。それぞれアプローチのやり方はあると思いますが、大事なものは「いかにやる気にさせるか」ということです。北海道日本ハムファイターズでは、若手選手に短期、長期に分けてそれぞれの目標を設定させます。またその日々の道程を確認させるべく日誌も書かせます。後に振り返った際に、選手たちに後悔がないよう、様々な工夫を凝らしています。

あらためて思うことは、仕事の根本は高校教員時代と変わっていないということです。あくまで主役は選手、指導する側は脇役。選手自らが気づきを得なければ伸びません。これまで経験したことのない指導に対して戸惑う選手も出てくることは事実ですが、それを選手のせいにするのではなく、さらに腰を据えて本気で選手と向き合うことを心がけています。こちらが本気であれば、選手たちの目つきも変わってきます。

●「タテ、ヨコ」、日体大同窓生の醍醐味。

いま、学生時代を振り返ると、一生付き合える仲間に出会えた4年間でした。高校時

“異色”の寮官、日本一への基礎を作り出す

◎北海道日本ハムファイターズ 本村 幸雄さん

代の恩師に憧れ、教員を目指し日体大に進学しましたが、最初は寮生活に慣れるのは大変でした。まだ世の中を知らない18歳が社会に放り出された感じでしょうか。でも、そのときの経験、気持ちがいまの自分の仕事で大きく生きているのだから不思議な縁です。

また、私は体操競技の池谷幸雄さんと同学年だったのですが、授業を受けていても世界と戦う選手が身近に集っていて、本当に刺激的でした。卒業してからも「タテ、ヨコ」の関係の日体大同窓生の皆さんに何度も助けられましたし、いまも先輩たちから人生の指針となる言葉もいただくことが多いです。

日体大での時間は自分の人生を支える4年間になったことは言うまでもありません。

●常に心に夢を持とう。そこから何かが始まる。

在学生やこれから日体大を目指す高校生には、若いときにスポーツだけではなく、多くのものを吸収してもらいたいと思います。また、常に自分の夢を持つてほしいと思います。私も少年時代からプロ野球の選手になることが夢でした。選手という形ではありません

でしたが、自らの指導法に評価をいただき現在の仕事に就いています。

人生を重ねることで夢の形は変わるかもしれませんが。しかし、漠然と日々を過ごすのではなく、常に大きな志があると、その人の生活は変わってくると思います。ぜひ、それぞれの大きな夢を実現する第一歩を日体大で踏み出してほしいです。

私の次の夢、それはもちろん勇翔寮から多くの一軍選手を出すこと。そしてその先には、日本の様々な分野で活躍する人材を作り出す私塾みたいな組織を作りたいと思っています。そのためにも今、目の前の仕事に全力で取り組んでいます。



昨年、就任直後には注目のルーキー「斎藤佑樹フィーバー」が鎌ヶ谷に到来。本村さんも多くのメディア対応に追われた。「選手たちには全てにおいて一流であってほしい」。本村さんの唯一にして最大の願いである。

PROFILE

北海道日本ハムファイターズ
寮教官(選手教育ディレクター)
本村 幸雄
(もとむら ゆきお)
1993年体育学科卒業

習志野高校2年時に甲子園出場、本学卒業後に神奈川県
の光明学園相模原高校に赴任。
以後、17年間に渡り野球部監督
として指導を行う。2011年
1月より北海道日本ハムファイ
ターズチーム統轄本部選手
教育ディレクターに就任。主に
若手選手の育成に当たっている。



● 強固な「日体ネットワーク」

現在は接骨院院長としての業務と男子ハンドボール日本代表(U-24)のチームトレーナーをはじめとしたトレーナーの仕事をしています。

仕事を始めた頃は日本一の柔道整復師を目指し毎日全力投球していました。接骨院を開業したのは、日体柔整に通院してくる日体大生をはじめ、スポーツ選手たちをケアしようと考えたからです。

一方、トレーナーについては、日体大の先輩からの紹介でトレーナー養成専門学校講師の話があり、そこから三和銀行アメフト部トレーナー、その後日体大ハンドボール部へとつながって現在に至ります。私の場合は、柔道整復師と日体協公認アスレティックトレーナーの資格があり、その資格がトレーナーの仕事で生きているわけです。

仕事の2本柱はどちらも学生時代からのつながりが基で、日体大のネットワークの強さを常に感じています

● けがをしない選手になるには

トレーナーとして、また柔道整復師としてスポーツ選手を見ていると、けがをする人とならない人の共通点に気づきます。

それは体の左右のバランスがよくない人です。競技によってはどうしても片方だけが強化されるものもあります。それでもなんとかバランスを取ろうと心がけてトレーニングする選手はけがが少ないのです。競技をイメージしながらトレーニングできていると言えるでしょう。例えば、シュートの際は左足で踏ん張るので当然強くする必要がありますが、左右対称性を認識してトレーニングする。ひたすら筋力アップするだけがトレーニングではありません。

体も柔らかければいいというものではありません。たとえ体が固くても、自分の柔軟性を120%引き出すと努力している選手はけがが少ないです。それを教え指導するのが私の仕事でもあります。

● 責任が重いほど達成感が大きい

接骨院をやっていますので、私のところにはいろいろな状態の人がやってきます。誰一人として同じ症状の人はいませんから、毎回

オリンピック選手を生み出し支えるトレーナー

◎ ながい接骨院院長 JOCオリンピック強化スタッフ 永井 正之さん

新しい発見があります。けがをした人がよくなっていたり、困った人を助けられたりするの大きな喜びです。

これまでの経験を活かし『骨盤ランチ たった5回!』『骨盤クランチ』で下半身からヤセる!』をはじめ、エクササイズに関する書籍を5冊出版しました。自分が持っているノウハウやメソッドを多くの人に知ってもらい、それによって少しでも社会の役に立てればと思っています。それがこの仕事のやりがいでもあります。

トレーナーとしては、選手が生き生きとプレーしチームが勝つことが喜びです。同時に重い責任を感じますが、困難な仕事ほど大きな達成感があります。

● 仕事には責任と覚悟が必要

現在はJOCオリンピック強化スタッフや日本代表のトレーナーをしています。今まで挫折の連続でした。柔道整復師としての限界を感じて医者になろうとしたこともありましたが、開業した後も様々なアクシデントがありました。そのたびに思ったのは、このマイナスをどうプラスに捉えるかということです。

最近ではトレーナーになりたいと考える人が多いと聞きます。その気持ちは大事ですが、トレーナーの仕事は一生の仕事にする覚悟があるかどうかです。

そのための1つとして、まず競技者として頂点を目指して欲しいと思います。そういう経験があると、選手が環境が理解できます。その上で客観的な判断がくだせるので、よいトレーナーになれるはず。競技がダメだからトレーナーになろうというのとは甘い考えです。この仕事に対する責任と覚悟が何よりも必要ではないでしょうか。



けがをした選手をいつ現場に復帰させるかを決めるのもトレーナーの任務。最適なタイミングを判断するために競技の経験は必要だと力説する永井さん。

PROFILE

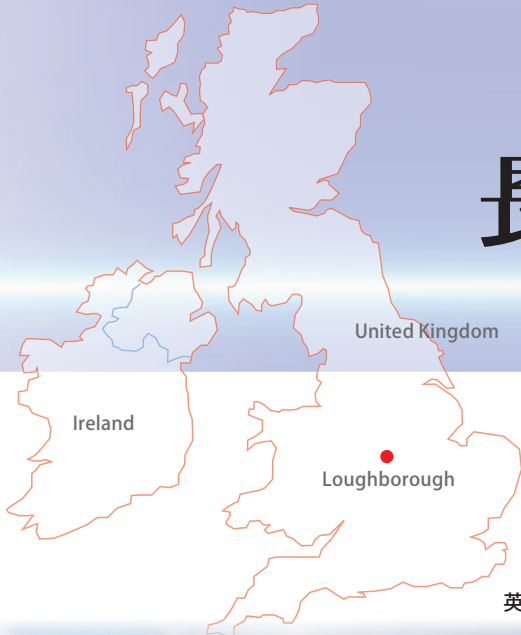
ながい接骨院・JOC
オリンピック強化スタッフ
永井 正之
(ながい まさゆき)
1991年社会体育学科卒業
日体柔整専門学校卒業

日体柔整専門学校卒業後柔道整復師として整形外科、救急病院に10年間勤務し、2000年ながい接骨院を開業。三和銀行アメリカンフットボール部ヘッドトレーナーから、本学ハンドボール部トレーナーなどを歴任し、その後、日本代表男子ハンドボールチームトレーナーに。監督、選手からは常に厚い信頼が寄せられている。



長期海外研修報告

2010年4月1日～2011年3月31日



英国で一番広い大学キャンパス

日本体育大学 情報処理研究室

林 忠男 准教授

2010年4月1日から2011年3月31日まで、英国 Leicestershire 州の Loughborough (ラフバラ) 大学における一年間の長期研修を終えて帰国しましたので報告致します。ラフバラ大学はイングランドの中央部東側に位置しており East Midlands と呼ばれる地方にあります。緯度的には北海道よりも北に位置しており夏の日没は 21:00 (サマータイムで1時間遅くなっています) 近くになるかわりに、冬の日没は 16:00 前という日照時間の差が激しい土地柄です。イギリスは冬の寒さが有名ですが暖流のおかげで緯度の割には温暖で冬の平均最低気温も -5℃ 程度で

す。とは言え 2010 年の 12 月は 40 年ぶりの寒波で交通が麻痺するほどの降雪がありどうなることかと思いましたが年が開けてからは道路の雪も溶け比較的すこし易い日々となりました。一方、夏は最高気温が 20℃ 前後で肌寒く感じましたが今思えば一年を通して過ごしやすい気候だったと思います。ラフバラ大学はスポーツ科学と工学部とありわけスポーツ工学が有名でいくつかのスポーツでは英国のトップレベルにあり、マラソン世界記録保持者のラドクリフなど数多くの有名選手を輩出しています。また一昨年に JOC がロンドンオリンピック最終

近所のラドクリフ練習コース

合宿地として契約したことで日本でも知名度が上がっています。イギリス国内では知名度が高く、渡英まもなく当時のブラウン首相が人気回復をめざして体操競技施設に激励に来ていました。イギリスで有名なことの一つに日本人の口に食事が合わないことがあげられます。外食に関して特にその





寮の食事



実験室風景

傾向が強いのですがスーパーで売っている野菜は案外おいしく味も濃く、それでいて安価です。ロンドンオリンピックを前に各競技団体は合宿候補地等で調査、検討していることと思われますが野菜は種類も豊富で十分現地調達で対応できると思います。

一方、日本人に合う調味料、だしやインスタント食品はあまりないので日本から持ち込むほうが良いでしょう。私も中華食材屋で日本食材を見つけて自炊するようになりました。

今回、バドミントン研究に関する英語論文を書く事が目的の一つだったのですが、研修前半はイギリス生活に慣れることにはほとんどのエネルギーを費やしました。英国は治安がよく人々も実直で素朴な方が多いのですが、規則に忠実であいまいな部分が少ない、わずかでも規則からはみ出せば

容赦なく罰金等がくだされます。一方で規則がない部分に関してはモラルが低下する傾向があり日本のように隅々まで整理整頓された街並やシステムではありませんでした。様々なシステムで不具合のための対応係が常駐しており結局口頭で対応したり、作業の精度や即時性には寛容なところがあったりもしました。これらの不具合がおきても謝罪というのはほとんどありません



んし、謝罪の要求もしないことが慣習のようでした。文化の違いなのでしょうが慣れるのにいささか時間がかかりました。後半はもっぱら研究に費やすこととなりアムステルダムにバドミントンの試合を撮影に行き、実験室での3次元撮影による精度検証の研究をおこないました。3月には日本の大災害をテレビニュースで知ることとなりましたが、海外メディアの内容は津波による被害と原発がほとんどで日本全体が壊滅しそうなイメージが先行しており大変気をもむこととなりました。帰国便はソウル経由に変更され、ソウルでクルー全員が降機し日本人クルーと入れ替わった時には現在の海外メディアの反応をいや応無しに認識することとなりました。今後はこれらの貴重な経験を生かし、より高いレベルの研究へと発展させていく所存です。



マイクの下がブラウン首相

学内のオブジェ

募集について



日本体育大学・日本体育大学女子短期大学部の世田谷キャンパス再開発事業については、平成20年8月に第1期工事が、平成23年5月には第2期工事が予定どおりに完工し、そして第3期の建設工事部分が平成24年1月に完成しました。この事業に要する建設費は約 245 億円を見込んでおり、建設費の一部については皆様のご支援、ご協力をお願いすべく、平成24年4月末までの3か年計画での寄付金募集を実施しております。平成21年6月に開始しました寄付金募集は本年が3年目となりますが、引続き皆様の温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、平成23年12月19日現在では、のべ2,294名の方々から総額 180,373,000 円の寄付を戴いております。ご寄付を戴いた方々のお名前は次のとおりであります。皆様の温かいご支援、ご協力に心から厚く御礼申し上げます。

日本体育大学東京世田谷キャンパス再開発事業募金委員会

委員長 谷釜 了正

(日本体育大学
日本体育大学女子短期大学部
学長)

1. 募金状況

(平成23年12月19日現在)

区 分	累 計	
	件 数	金 額 (円)
1、役員、評議員、顧問	68	16,150,000
2、大学・短大教職員	126	15,650,000
3、法人職員	34	3,200,000
4、同窓その他	2,001	83,923,000
5、取引先企業	56	61,600,000
総 合 計	2,285	180,523,000

2. 内訳

(平成22年5月25日から平成23年12月19日まで。それ以前の方のお名前は学報25号にて掲載しております。)(名前は受付順であり、匿名希望の方は記載してありません。)

伊藤 帆浪
早川 竹
角 千明
時田 広人
長谷川 信也
坂本 通泰
土屋 小夜子
内田 博・美千子
中尾 俊治
小林 進
平野 佳子
明石 正夫
栗松 一雄
脇 浩
平松 学
藤 直子
島津 宣
堂 勉
小川 靖子
行方 毅
野上 毅
陶山 智
金子 剛彦
藤田 弘隆
山崎 陸雄
吉住 芳子
山口 久夫
谷 尋徳
釜 慎介
降平 幸秀
野間 保三郎
串間 紀子
渡辺 壽
大新 和彦
宮神 成之
原 正明
小室 清子
串間 美奈男
村 ゆかり
菊坂 雅信
波多野 壽
池永 武昭
池 泰弘
尾 正和
山 国臣
金 国臣

横野 均
島根 治
川 輝雄
藤田 寧子
三嶋 啓悦
日食 和雄
工藤 美恵子
吉規 喜光
船江 昭二
卯野 優
石川 正士
高木 善則
富田 容子
松尾 和恵
塩田 明彦
中田 修一
中島 洋二
浅井 協子
河村 俊登
河村 裕子
岩下 久雄
畑野 則文
松田 喜重
滝沢 文忠
小野 信行
森政 真人
久保 昇
大川 和子
谷 勉
栗原 貞徳
菊地 晴行
春藤 一行
渡部 敬男
安藤 建生
川尻 宏明
松熊 和直
高田 慶寿
渡辺 行子
御小柴 雅人
中村 郁子
間野 憲一
幸村 展明
松澤 清司
伊藤 豊八朗
五島 千晴
山本 義明
家城 義明

成富 清武
和誠 昭正
佐藤 登
松倉 博行
岡本 忠良
塚平 弘和
永井 正
倉市 敬典
橋本 庄一郎
坂本 京子
泉 純一郎
高橋 雅朝
松崎 煌
松崎 建
平野 雅明
落合 義光
内下 力
小林 静子
富士 邦彦
田中 博文
宮川 一
寒川 福枝
木多 栄
大越 圓
近藤 摩知
藤井 計色
福井 佳代子
板本 均
森山 弘明
森見 祥子
澤田 好美
黒林 京助
林 厚
山本 益子
益 勝
浜島 元章
平澤 玲二
谷藤 修平
齊藤 博英
五月 松三
野村 智子
佐久間 貞良
大坂 薫
新田 健作
井 未井
池浦 孝
榎野 しず香

小松 英喜
向本 一行
井 賢
嶋崎 慎吾
吉澤 仁恵
中 庸夫
高野 宏
清江 亜希子
菊田 隆
田中 晃三
小川 ヨリ子
木塚 保雄
市毛 千恵子
吉野 洋祐
甲谷 精一
高橋 乾
渡邊 幸夫
鬼頭 博子
三石 雅明
橋尾 眞一
堀 英夫
真 功
三 一八
佐藤 美
織田 日出
大浦 論
阿保 隆
高見 季
加藤 俊
山内 重精
荊尾 智徳
倉掛 良則
倉掛 政己
菅野 誠
松枝 美朗
柿島 俊和
外越 卓也
岩越 正己
中瀬 枝枝
中村 讓
原口 三
坂田 武夫
清水 茂
小林 修身
野中 セツ子
渡辺 セツ子

南波 克憲
三好 信隆
細江 守男
久場 長哲
及川 育
加藤 廣志
千葉 喜久子
宮下 恒
山田 猛
長岡 敏久
前川 和三
大高 明子
塚越 昭平
下山 吉男
西島 利一
林 耕三
中山 富夫
井関 滋夫
久良 昌男
谷 暢三
太田 茂展
山本 一宏
奥村 幸三
小川 至
新井 要吉
中島 弘子
伊藤 延世
大野 昭高
鈴木 義高
川口 昌裕
小川 昌裕
内野 慎一郎
原 慎一郎
平井 博司
横山 三三
花原 典子
小林 榮富
長谷 さつき
若月 弘一
若月 正彦
光岡 貴洋
中島 智菊
山口 清彦
安井 忠生
吉田 重治
小野澤 進
丹生 千賀子
久守 のり子

②100万円以下の寄付者
後藤 和己
原 哲夫
山本 均・見代子
真下 宗征
水野 遵二
畑山 佳代
白川 文夫
松本 民子
山口 耕二
久保田 竜弥
山田 哲司
折笠 義則
折笠 洋市
山本 要輔
溝口 孝
三石 孝雄
大堀 清孝
板屋 怜子
成田 勝吾
高橋 春枝
佐久間 政照
濱口 良彦
藤原 眞里
山下 浩宣
東出 錠二
宮前 和彦
小曾戸 和子
鈴木 一
後藤 文能
佐藤 順子
八巻 崇
青木 順三
藤城 宇佐美
江風 賢治
稲生 義則
鈴木 和子
伊澤 俊彦
渡邊 典男
有賀 健
関 毅彦
池田 伸二
田中 一井
脇若 綾
脇若 紀子
渡邊 武
佐藤 太助
赤嶺 良光
奥 静子

水谷 幸恵
森崎 昭伸
松本 慎吾
具志堅 幸司
落合 卓四郎
櫻井 忠義
福永 義臣
大内 哲彦
片山 昇
齋藤 一雄
鳥山 康夫
別府 健至
藤野 雅博
忠政 明彦
土岐 真弓
山本 貴代志
菊名 博之
秋本 フヂ子
佐藤 友美
山中 浩子
③法人職員
佐々木 優
高木 隆吉
山本 稔
保科 久美子
原口 幸一
松本 彰
裾津 功
尾関 庸一
大須賀 雅美
④100万円以下の寄付者
佐々木 優
高木 隆吉
山本 稔
保科 久美子
原口 幸一
松本 彰
裾津 功
尾関 庸一
大須賀 雅美

(1) 役員、評議員、顧問
①100万円以上の寄付者
塔尾 武夫
2,000,000 円
②100万円以下の寄付者
藤井 篤
藤田 征榮
大石 巧造
岡野 俊一郎
土屋 正男
北村 卓司
江間 龍彦
古村 澄一
鈴木 誠治
鈴木 雅史
上平 正典
佐分 征
加藤 克夫
武井 義朗
小粥 浩
比留間 進
(2) 大学・短大教職員
①100万円以下の寄付者
谷釜 了正
阿部 茂明
坂井 元
監物 永三
森 徹
山口 和之
平沼 憲治
入江 一憲
田中 信行
小嶋 新太
森田 淳悟
町田 輝雄
大東 忠司
湯浅 友功
藤原 脩
関口 清一郎
新里 脩
吉川 知佳野
澤井 雅志

東京世田谷キャンパス再開発事業の寄付金

石川吉永田久世磯井飯田佐藤千葉伊藤倉宮祐詰田橋鈴木今阪峯北野原杉山杉山久米嶋山岡山崎藤川坂山片植村大田澤田横田高清水磯面立岩中村宋白石田高橋錦織尾庄司遠藤二山崎熊越有田荒間五十兼本金井手口筒井大又岡村江藤拔井稻葉一長橋藤内藤岡上原副仙崎堀木本山福田	裕子嗣俊美睦子正利二行人重子好子亨慈海人幹豪良克征一陽惠昭重章教道輔代文夫子榮一治男重正範支津代京子志基奈寛知豐昭幹士高捨兼清美智子友子厚子理加貴昭京恵美一郎佳修三弘瑠璃子恭澄隆英敬研二武通道良尚明美	靖人晴美澄毅聖之盛作男隆雅子マリ淳美康夫子郎弘文美代淳子稔克美男香政雄潔秀秀男貴部子潤和静子善治剛信夫次博田鶴代兒富和紀久潤子睦子和覺五十三剛繼昌和進一枝子一弘哲弘世信子宏邦子久雄崇忠之助繁洋昭和仁宏敬徹百宣明夫純由仁隆貞賢次長文矩和彦忠靖夫太郎智子長則子德弘永愛子	玉北崎路平瀬辻田野津佐藤上平栄栄鈴鈴倉竹内西原石近藤昌中宅尾田高橋根本大野瓦大塚一宮川高橋外館齋藤和栗辻坂井末堀川飯島服部門武澤竹下宇田川松村柳澤崎野嶋之木稻葉清水中桶富島小出木村日若月新屋上田海外毛江田粟田岡野口賀村高田藤前田丹西川倉持箇岡大畠小野高嶋岡田石津磯原的場木村伊藤吉村高橋三浦岡柴湯淺成藤寺部	山本宮里村城戸早川福田大塚本森廣野村尾瀨沢秋勝井川島村田中雄日置小島橋佐山松田光川佐村工藤八代原柳原池本柴田遠藤小林稲垣加藤小谷柴石井飯塚山森門田吉澤井佐藤木松原西東浦伊藤三島井福井藏谷網本仁渡波上郷野田須田久伊勢谷植田永田宮富鈴木瀬戸丸山田深澤廣田新橋高屋慶長山本砂子間一滿馬巴渡辺守成岡山高山座上間脇井箱崎茨木鈴木佐藤原島田	恒夫芳嗣明啓一郎登清八郎正雄直寿久子冬雄武靜子章男吾春二健生男範夫博伸彦光代敏健志吾紳和男儀邦弘文雄隆康啓司峰子安明麗子鐵四郎正弘隆三枝久浩一博孝雄一裕一勝三誠利憲巖ひとみ武夫秀夫征一悦朗悅正久浩太祐一至聡起子雄茂夫英雄昭次洋人祥子修平英明満馬仲俊守隆子欣義敦佳和久俊伸幸一剛豊	大谷瀨外片柴田阿部高坂古山嶋伊藤関口藤山崎竹内松田大原花房阿部野庭山柳井大松井上深川磯部日比野豐福地大杉山笠原山村伊藤北田松本入澤尾西半田結城望月酒井室大川安村中島藤岡井遠井尾中嶋四宮久保上山深井梶原下野古賀小餅久宮崎西伊藤嘉田伊與田柴岡眞類河野深沢角巷小泉近藤清水清水森影高橋金子小林花安部村米滝沢九野粟白石綱中山土屋	秀世雄一衛正行清幸美克富雄公英則子仁博明祥美正義房平峰子政幸スミ己信昭雅八枝富美子文樹美昇史明教拓司守弘雅代誠武彰浩二剛みどり夫俊京子幸由稔男美枝子薰英行昭進玲幸博友彦大伍功子奨吾好彦蔵邦彦誠一章とも麻衣子陽一郎未央正道將之浩章ゆかり勝平地アサ子智政元和彦卯禮男薫俊次量久子健次	舂巴照日本体育大学石川県同窓会(齋藤佐武朗)・興保護者会(田中吉栄)	田上松尾太石川今野草間成田立石岡田大須青木那須龍房相園師山田中澤秋田柿田鶴見澤村伊藤丹梁瀧端大村小松原村上河井潮川根来砂田高尾小倉佐藤吉永瀬島東山田岩石川金井須阿部篠崎明田河合飯塚坂下加藤彬田篠原南中村古賀出射川前多徳永大坪利根川阿波加伊藤荒井石坂吉村小山高奥岡崎渡辺山田久木板井原松崎唐津鈴木宗内関村岩田小池南幸夫大黒村西山川松尾	雅大泰枝正和瑞美子金哉光道子巖司泰治智晴龍四郎直利正明清見久樹嘉徳治修正司寛育建一文章一魁正輔三寛光賢一孝裕由紀子文夫和則隆夫陽子暢昭三清由文恵大勝朝晴眞佐子逸人秋男薫かすみ精四郎誠和彦千秋彦正久美子義平勇孝作哲次男辰明健次郎和男シゲオ章増男武威清美浩二雄啓弘晨徳行輝真治輔務務幸夫昭彦・紀彦一元信薫恵一	川尻高橋福岡松谷仲内二小野北島竹内安孫子阪星波多野齋藤寺内山田上望大田浅原池田増田近山崙鎌田細川林金光清水城澤松岡澤桑原細川中尾坂手原岩脇金子日本体育大学同窓会山下勝司	庫子幸時春祇正義造耕一康介隆清七裕昭昭貴洋・容子泰長郎秀亮秀典豊和弘裕之敏久男和秀和晃博子政秀佳将樹才登一康志弘文彦珍實正隆繁司瑞穂長裕美祐男慶三己明人博克剛雅則一男志益生義幸恵令道展麻美悟朗勉芳雄茂夫信雄和代剛義寛和夫眞理恵希武典雄信博允興薫敏正由清志能孝秀美勝也浩一春	森山德大淵保田吉川井谷村佐藤有馬藤原竹内高橋研字野藤田宇田庄司横須賀牧野十代荒保小澤下山堤小澤小滝西沢尾村前野藤川石田田今泉々々井上天野原小倉和田赤森小福田岩山沢田増田口眞木宮下小川佐藤辻小林烟森崎藤清水伊藤神川小阪楠羽桢木植月柳村松本黒木平佐藤大脇北川内石田田尾崎斉藤小畑矢小嶋木塚冨井田作千白井泉	廣芽啓人恵幸次郎博義一朗俊明あゆみ宏継総照茂あつ子由微秀子三敦子政雄紀史光俊一喜久江秀子恵由雅志保宏笑美子茂勝徳重正尚人良忠博田弘培夫三敷勇正子悦朗二堂一修憲美樹子恒志郎久房子圭和孝豊裕子和忍智耕一弘幸吉智子清美智樹義博子祥介幸りつ子徹正法崇由登智津子正雄加壽子一勉清亮晋清章笙子嗣健司ヒロ義夫長秀	志水城田武田邊竹下佛目獵村郷佐口今井上川侯山崎佑美藤江小松村永倉本又井玉屋梶谷岡鈴村上岡山松田中西阿部田吉藤川野吉田小宮崎堀江原田菊岡閤口谷田藤太黒板眞延藤翁久川上西村箕田小笠原石重村幸栗宮島山村小山三渡川原村多倉增岩高内海中口福村八谷島留岡崎川中間松谷田垣森中朝倉宮川大	貢一建次治栄正人勲喜南一彦明彦梢裕真理子剛大作和雄富均利江樹秀達明慶よう子正知則智也明玄聰一郎誠信京子晴和治稔映昭美勝史嘉よ子元紀治雄久人雅通信也君章雅人壽一夫徳男聡文津男敏和正忠欣章督英郎夫三男秀順俊信浩建身善子三子洋久雄日出正一嚴雪信昭勇人佳登久枝美三行政範保みどり茂昭忠武則
--	--	---	---	--	---	--	---	------------------------------------	--	--	--	--	--	---	--	--



平成23年度[下半期クラブの主な大会成績]

クラブ名	大会名	性別	種目	順位	氏名
■体操競技	第65回全日本体操競技団体・種目別選手権大会	男子	団体総合 ゆか	3位	青山政高 (3年)
				4位	瀬島龍三 (2年)
				6位	出口諒財 (4年)
				8位	青山政高 (3年)
				5位	佐藤巧 (4年)
		女子	跳馬 平行棒 団体総合 段違い平行棒 平均台	5位	瀬島龍三 (2年)
				優勝	
				8位	内村春日 (3年)
				3位	内村春日 (3年)
				4位	池尻麻希 (2年)
■レスリング	平成23年度関東学生交流体操競技選手権大会 平成23年度関東学生新体操競技選手権大会	男子	個人総合	2位	横山聖 (1年)
				3位	武田一志 (1年)
				優勝	佐藤宏太 (2年)
				2位	瀬島龍三 (2年)
				6位	山本雅賢 (4年)
		女子	交流個人総合 団体総合個人ゆか 団体総合つり輪 団体総合 個人総合 個人総合 団体総合 (5連覇) 個人総合	優勝	
				2位	
				2位	
				3位	瀬島龍三 (2年)
				6位	田中理恵 (院2)
■ソフトテニス	第86回全日本学生体操競技選手権大会	男子	個人総合	優勝	内村春日 (3年)
				優勝	田野倉翔大 (3年)
				3位	泉武志 (4年)
				優勝	富塚拓也 (4年)
				優勝	中村隆春 (2年)
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	辰川裕也 (4年)
				優勝	米平安寛 (2年)
				最優秀選手賞	辰川裕也 (4年)
				2位	高安直人 (4年)
				優勝	井上貴尋 (3年)
■バドミントン	内閣総理大臣杯 全日本大学選手権	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	6位	松本岬 (3年)
				優勝	佐々木健吾 (3年)
				優勝	中野智章 (3年)
				優勝	中野智章 (3年)
				優勝	泉武志 (4年)
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	井上貴尋 (3年)
				優勝	中村隆春 (2年)
				優勝	辰川裕也 (4年)
				優勝	植田幸寿保 (1年)
				3位	熊井曜 (2年)
■ダブルダッチサークル	関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	富士原由記 (2年)
				優勝	東海あかね (2年)
				優勝	奥村すずな (1年)
				優勝	黒木瑠璃華 (1年)
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■エアロビクス同好会	第62回全日本学生バドミントン選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	東日本学生バドミントン選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第43回秋季リーグ戦	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第42回関東大学男女ソフトボール選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第59回全日本学生剣道優勝大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第57回関東学生剣道新人戦大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第12回関東女子学生剣道新人戦大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第28回全日本エアロビクス選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第11回全日本学生エアロビクス選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	JAAAアジア大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第26回ユニバーシアード競技大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	Double Datch Delight Japan 2011	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	NDDL Holiday Classic	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	Advanced Fusion Bestofshow	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	全日本選手権 メンズオープン	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	全日本セバタクロオープン選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	文部科学大臣杯第36回全日本アルティメット選手権大会本戦	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	全日本新人選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第53回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	関東学生アーチェリー新人選手権大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	JR東日本カップ2011第85回関東大学サッカーリーグ戦	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第45回少林寺拳法全日本学生大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	FINA競泳ワールドカップ東京2011	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
■ダブルダッチサークル	第26回ユニバーシアード競技大会	男子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
		女子	団体総合 団体総合 ダブルス ダブルス ダブルス	優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	
				優勝	



2011年プロ野球ドラフト会議において、硬式野球部辻孟彦 (体育学科4年) が中日ドラゴンズから4位指名。河野部長 (左)、古城監督 (右) と握手。





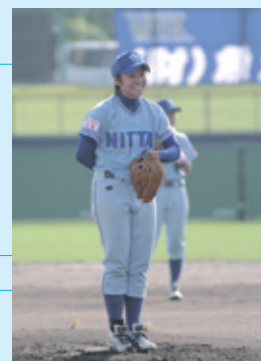
ダブルダッチサークル世界ーに！学長へ優勝報告。



クラブ名	大会名	性別	種目	順位	氏名														
第87回日本学生選手権大会		女子	400m個人メドレー、 400m個人メドレー-4×200mリレー 4×100mメドレーリレー-100m自由形 4×100mリレー-4×200mリレー	4位 8位 8位	藤森太将 (2年) 高橋美帆 (1年)														
		男子	1500m自由形 200m背泳ぎ 団体 4×200mリレー	6位 8位 8位 優勝	松本弥生 (4年) 小口綾乃 (2年) 島添紗紀 (3年)														
			女子	400m個人メドレー-200m個人メドレー 400m個人メドレー-200m個人メドレー 4×200mリレー 4×100mリレー 400m個人メドレー 200m背泳ぎ 800m自由形 100m自由形50m自由形 100m自由形	優勝 優勝 2位 優勝 2位 3位 3位 2位 3位	小関也朱篤 (2年) 田中直規 (3年) 藤森太将 (2年) 堀畑裕也 (3年) 堀畑裕也 (3年) 藤森太将 (2年) 小口綾乃 (2年) 津下尚子 (3年) 高橋美帆 (1年) 松本弥生 (4年) 津下尚子 (3年) 小口綾乃 (2年) 八木真波 (2年) 松本弥生 (4年) 高橋美帆 (1年) 島添紗紀 (3年) 小口綾乃 (2年) 松本弥生 (4年) 津下尚子 (3年)													
				男子	優勝	5位	大川慶悟 (4年) 角野友紀 (3年) 岩城賢一 (3年) 竹井昂司 (3年) 清水直樹 (3年) 吉満隆彰 (2年) 逸見優太 (2年) 志賀光明 (2年) 柳瀬彰良 (院1年)												
				■水泳 (飛込) ■相撲	第26回ユニバーシアード競技大会 第89回全国学生相撲選手権大会 第60回全国大学選抜相撲高知大会 天皇杯第60回全日本相撲選手権 第1回全日本学生選抜相撲金沢大会 東日本学生リーグ戦	男子	3mシンクロノイズダイビング団体 個人 団体 個人 個人 個人 団体	5位 2位 優勝 優勝 2位 8位 優勝	坂井丞 (1年) 中村大輝 (1年) 滝田真 (2年) 吉田圭佑 (2年) 一之瀬康平 (2年) 滝田真 (2年)										
		■トランポリン				第48回全日本トランポリン競技選手権大会	男子	団体 団体 個人 団体 シンクロ シンクロ	優勝 5位 8位 2位 優勝 3位	田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 吉村祐太 (4年) 田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 田崎勝史 (2年)									
			■軟式野球 ■バスケットボール				第17回女子軟式野球ジャパンカップ 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 入れ替え戦	女子	優勝										
								男子	2部リーグ 1部昇格	優勝									
								■バレーボール	秋季関東大学バレーボールリーグ戦 第64回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 第58回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 第26回ユニバーシアード競技大会	男子	1部リーグ	3位							
										女子	2位								
女子	2位																		
女子	4位									岸本瞳 (4年) 中村亜友美 (3年)									
■ハンドボール	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会 関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会									男子	優勝 優勝 3位								
										女子	優勝 優勝 3位								
				■ライフセービング	第37回全日本ライフセービング選手権大会					男子	ビーチスプリント 2kmビーチラン	2位 5位 8位 4位 6位	宮森敬介 (4年) 石井雄大 (1年) 小泉寛高 (4年) 神戸浩樹 (3年) 鈴木友三朗 (1年)						
		女子				サーフレース ボードレース				8位 8位 6位 7位	宮崎翔平 (2年) 下山愛由 (4年) 佐伯芽維 (4年) 宮田沙依 (3年)								
			ビーチスプリント 2kmビーチラン			8位 6位 優勝 6位	田中亜由美 (4年) 佐伯芽維 (4年) 佐々木聡美 (4年) 國武あかね (4年)												
						レスキューチューブレスキュー ビーチリレー	8位 優勝 2位 3位			下山愛由 (4年) 井口裕太 (3年) 岡本大 (2年) 市川拓司 (1年) 小泉寛高 (4年) 森新太郎 (1年) 宮森敬介 (4年) 会田拓也 (1年) 竹井健太郎 (3年) 石井雄大 (1年) 佐藤昂亮 (4年) 沖野淳平 (3年) 高橋純 (4年) 岩井寛文 (1年)									
						■ラクロス	第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第23回全日本学生チアリーディング選手権大会 第66回国民体育大会	男子	3位										
		女子						3位											
		■チアリーダー ■ウエイトリフティング	第66回国民体育大会 第56回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会					77kg級 105kg級 69kg級 77kg級	2位 優勝 優勝 4位	山本俊樹 (2年) 鈴木匠平 (4年) 竹内洋介 (2年) 平本衛治 (2年)									
								■柔道	全日本学生柔道体重別団体優勝大会 全日本学生柔道体重別選手権大会 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 柔道グランドスラム東京2011	男子	50kg級 60kg級 66kg級 81kg級 90kg級 90kg級 60kg級 66kg級 60kg級 66kg級 60kg級	5位 優勝 2位 優勝 優勝 3位 4位 4位 優勝 優勝 優勝	木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 小林雅司 (4年) 下和田翔平 (3年) 下和田翔平 (3年) 木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 山本浩史 (4年) 高上智史 (2年) 志々目徹 (2年)						
■陸上競技 (駅伝) ■フィンスイミング	第26回ユニバーシアード競技大会 第23回出雲全日本大学選抜駅伝 第43回全日本大学駅伝 第8回フィンスイミング日本学生選手権大会									男子	60kg級	優勝							
										■自転車競技	第26回ユニバーシアード競技大会 全日本選手権大会 (トラック)	女子	4×100mSF 3km個人追抜 ロードチームタイムトライアル 3km個人追抜	優勝 8位 5位 2位	田中まい (4年) 田中まい (4年) 田中まい (4年)				
				■水泳 (水球)	Water Polo Japan Challenge 2011 第26回ユニバーシアード競技大会							男子	優勝	5位					
												■水泳 (飛込) ■相撲	第26回ユニバーシアード競技大会 第89回全国学生相撲選手権大会 第60回全国大学選抜相撲高知大会 天皇杯第60回全日本相撲選手権 第1回全日本学生選抜相撲金沢大会 東日本学生リーグ戦	男子	3mシンクロノイズダイビング団体 個人 団体 個人 個人 個人 団体	5位 2位 優勝 優勝 2位 8位 優勝	坂井丞 (1年) 中村大輝 (1年) 滝田真 (2年) 吉田圭佑 (2年) 一之瀬康平 (2年) 滝田真 (2年)		
														■トランポリン	第48回全日本トランポリン競技選手権大会	男子	団体 団体 個人 団体 シンクロ シンクロ	優勝 5位 8位 2位 優勝 3位	田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 吉村祐太 (4年) 田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 田崎勝史 (2年)
																■軟式野球 ■バスケットボール	第17回女子軟式野球ジャパンカップ 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 入れ替え戦	女子	優勝
						男子	2部リーグ 1部昇格											優勝	
						■バレーボール	秋季関東大学バレーボールリーグ戦 第64回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 第58回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 第26回ユニバーシアード競技大会											男子	1部リーグ
		女子	2位																
		女子	2位																
女子	4位	岸本瞳 (4年) 中村亜友美 (3年)																	
■ハンドボール	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会 関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会	男子	優勝 優勝 3位																
		女子	優勝 優勝 3位																
		■ライフセービング	第37回全日本ライフセービング選手権大会	男子	ビーチスプリント 2kmビーチラン			2位 5位 8位 4位 6位	宮森敬介 (4年) 石井雄大 (1年) 小泉寛高 (4年) 神戸浩樹 (3年) 鈴木友三朗 (1年)										
				女子	サーフレース ボードレース			8位 8位 6位 7位	宮崎翔平 (2年) 下山愛由 (4年) 佐伯芽維 (4年) 宮田沙依 (3年)										
					ビーチスプリント 2kmビーチラン			8位 6位 優勝 6位	田中亜由美 (4年) 佐伯芽維 (4年) 佐々木聡美 (4年) 國武あかね (4年)										
								レスキューチューブレスキュー ビーチリレー	8位 優勝 2位 3位	下山愛由 (4年) 井口裕太 (3年) 岡本大 (2年) 市川拓司 (1年) 小泉寛高 (4年) 森新太郎 (1年) 宮森敬介 (4年) 会田拓也 (1年) 竹井健太郎 (3年) 石井雄大 (1年) 佐藤昂亮 (4年) 沖野淳平 (3年) 高橋純 (4年) 岩井寛文 (1年)									
						■ラクロス	第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第23回全日本学生チアリーディング選手権大会 第66回国民体育大会	男子	3位										
				女子				3位											
				■チアリーダー ■ウエイトリフティング	第66回国民体育大会 第56回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会			77kg級 105kg級 69kg級 77kg級	2位 優勝 優勝 4位	山本俊樹 (2年) 鈴木匠平 (4年) 竹内洋介 (2年) 平本衛治 (2年)									
								■柔道	全日本学生柔道体重別団体優勝大会 全日本学生柔道体重別選手権大会 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 柔道グランドスラム東京2011	男子	50kg級 60kg級 66kg級 81kg級 90kg級 90kg級 60kg級 66kg級 60kg級 66kg級 60kg級	5位 優勝 2位 優勝 優勝 3位 4位 4位 優勝 優勝 優勝	木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 小林雅司 (4年) 下和田翔平 (3年) 下和田翔平 (3年) 木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 山本浩史 (4年) 高上智史 (2年) 志々目徹 (2年)						
■陸上競技 (駅伝) ■フィンスイミング	第26回ユニバーシアード競技大会 第23回出雲全日本大学選抜駅伝 第43回全日本大学駅伝 第8回フィンスイミング日本学生選手権大会									男子	60kg級	優勝							
										■自転車競技	第26回ユニバーシアード競技大会 全日本選手権大会 (トラック)	女子	4×100mSF 3km個人追抜 ロードチームタイムトライアル 3km個人追抜	優勝 8位 5位 2位	田中まい (4年) 田中まい (4年) 田中まい (4年)				
		■水泳 (水球)	Water Polo Japan Challenge 2011 第26回ユニバーシアード競技大会									男子	優勝	5位					
												■水泳 (飛込) ■相撲	第26回ユニバーシアード競技大会 第89回全国学生相撲選手権大会 第60回全国大学選抜相撲高知大会 天皇杯第60回全日本相撲選手権 第1回全日本学生選抜相撲金沢大会 東日本学生リーグ戦	男子	3mシンクロノイズダイビング団体 個人 団体 個人 個人 個人 団体	5位 2位 優勝 優勝 2位 8位 優勝	坂井丞 (1年) 中村大輝 (1年) 滝田真 (2年) 吉田圭佑 (2年) 一之瀬康平 (2年) 滝田真 (2年)		
														■トランポリン	第48回全日本トランポリン競技選手権大会	男子	団体 団体 個人 団体 シンクロ シンクロ	優勝 5位 8位 2位 優勝 3位	田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 吉村祐太 (4年) 田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 田崎勝史 (2年)
																■軟式野球 ■バスケットボール	第17回女子軟式野球ジャパンカップ 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 入れ替え戦	女子	優勝
						男子	2部リーグ 1部昇格											優勝	
						■バレーボール	秋季関東大学バレーボールリーグ戦 第64回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 第58回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 第26回ユニバーシアード競技大会											男子	1部リーグ
				女子	2位														
				女子	2位														
女子	4位			岸本瞳 (4年) 中村亜友美 (3年)															
■ハンドボール	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会 関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会			男子	優勝 優勝 3位														
		女子	優勝 優勝 3位																
		■ライフセービング	第37回全日本ライフセービング選手権大会	男子	ビーチスプリント 2kmビーチラン			2位 5位 8位 4位 6位	宮森敬介 (4年) 石井雄大 (1年) 小泉寛高 (4年) 神戸浩樹 (3年) 鈴木友三朗 (1年)										
				女子	サーフレース ボードレース			8位 8位 6位 7位	宮崎翔平 (2年) 下山愛由 (4年) 佐伯芽維 (4年) 宮田沙依 (3年)										
					ビーチスプリント 2kmビーチラン			8位 6位 優勝 6位	田中亜由美 (4年) 佐伯芽維 (4年) 佐々木聡美 (4年) 國武あかね (4年)										
								レスキューチューブレスキュー ビーチリレー	8位 優勝 2位 3位	下山愛由 (4年) 井口裕太 (3年) 岡本大 (2年) 市川拓司 (1年) 小泉寛高 (4年) 森新太郎 (1年) 宮森敬介 (4年) 会田拓也 (1年) 竹井健太郎 (3年) 石井雄大 (1年) 佐藤昂亮 (4年) 沖野淳平 (3年) 高橋純 (4年) 岩井寛文 (1年)									
						■ラクロス	第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第23回全日本学生チアリーディング選手権大会 第66回国民体育大会	男子	3位										
				女子				3位											
				■チアリーダー ■ウエイトリフティング	第66回国民体育大会 第56回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会			77kg級 105kg級 69kg級 77kg級	2位 優勝 優勝 4位	山本俊樹 (2年) 鈴木匠平 (4年) 竹内洋介 (2年) 平本衛治 (2年)									
								■柔道	全日本学生柔道体重別団体優勝大会 全日本学生柔道体重別選手権大会 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 柔道グランドスラム東京2011	男子	50kg級 60kg級 66kg級 81kg級 90kg級 90kg級 60kg級 66kg級 60kg級 66kg級 60kg級	5位 優勝 2位 優勝 優勝 3位 4位 4位 優勝 優勝 優勝	木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 小林雅司 (4年) 下和田翔平 (3年) 下和田翔平 (3年) 木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 山本浩史 (4年) 高上智史 (2年) 志々目徹 (2年)						
■陸上競技 (駅伝) ■フィンスイミング	第26回ユニバーシアード競技大会 第23回出雲全日本大学選抜駅伝 第43回全日本大学駅伝 第8回フィンスイミング日本学生選手権大会									男子	60kg級	優勝							
										■自転車競技	第26回ユニバーシアード競技大会 全日本選手権大会 (トラック)	女子	4×100mSF 3km個人追抜 ロードチームタイムトライアル 3km個人追抜	優勝 8位 5位 2位	田中まい (4年) 田中まい (4年) 田中まい (4年)				
		■水泳 (水球)	Water Polo Japan Challenge 2011 第26回ユニバーシアード競技大会									男子	優勝	5位					
												■水泳 (飛込) ■相撲	第26回ユニバーシアード競技大会 第89回全国学生相撲選手権大会 第60回全国大学選抜相撲高知大会 天皇杯第60回全日本相撲選手権 第1回全日本学生選抜相撲金沢大会 東日本学生リーグ戦	男子	3mシンクロノイズダイビング団体 個人 団体 個人 個人 個人 団体	5位 2位 優勝 優勝 2位 8位 優勝	坂井丞 (1年) 中村大輝 (1年) 滝田真 (2年) 吉田圭佑 (2年) 一之瀬康平 (2年) 滝田真 (2年)		
														■トランポリン	第48回全日本トランポリン競技選手権大会	男子	団体 団体 個人 団体 シンクロ シンクロ	優勝 5位 8位 2位 優勝 3位	田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 吉村祐太 (4年) 田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 田崎勝史 (2年)
																■軟式野球 ■バスケットボール	第17回女子軟式野球ジャパンカップ 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 入れ替え戦	女子	優勝
						男子	2部リーグ 1部昇格											優勝	
						■バレーボール	秋季関東大学バレーボールリーグ戦 第64回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 第58回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 第26回ユニバーシアード競技大会											男子	1部リーグ
				女子	2位														
				女子	2位														
女子	4位			岸本瞳 (4年) 中村亜友美 (3年)															
■ハンドボール	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会 関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会			男子	優勝 優勝 3位														
		女子	優勝 優勝 3位																
		■ライフセービング	第37回全日本ライフセービング選手権大会	男子	ビーチスプリント 2kmビーチラン			2位 5位 8位 4位 6位	宮森敬介 (4年) 石井雄大 (1年) 小泉寛高 (4年) 神戸浩樹 (3年) 鈴木友三朗 (1年)										
				女子	サーフレース ボードレース			8位 8位 6位 7位	宮崎翔平 (2年) 下山愛由 (4年) 佐伯芽維 (4年) 宮田沙依 (3年)										
					ビーチスプリント 2kmビーチラン			8位 6位 優勝 6位	田中亜由美 (4年) 佐伯芽維 (4年) 佐々木聡美 (4年) 國武あかね (4年)										
								レスキューチューブレスキュー ビーチリレー	8位 優勝 2位 3位	下山愛由 (4年) 井口裕太 (3年) 岡本大 (2年) 市川拓司 (1年) 小泉寛高 (4年) 森新太郎 (1年) 宮森敬介 (4年) 会田拓也 (1年) 竹井健太郎 (3年) 石井雄大 (1年) 佐藤昂亮 (4年) 沖野淳平 (3年) 高橋純 (4年) 岩井寛文 (1年)									
						■ラクロス	第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第23回全日本学生チアリーディング選手権大会 第66回国民体育大会	男子	3位										
				女子				3位											
				■チアリーダー ■ウエイトリフティング	第66回国民体育大会 第56回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会			77kg級 105kg級 69kg級 77kg級	2位 優勝 優勝 4位	山本俊樹 (2年) 鈴木匠平 (4年) 竹内洋介 (2年) 平本衛治 (2年)									
								■柔道	全日本学生柔道体重別団体優勝大会 全日本学生柔道体重別選手権大会 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 柔道グランドスラム東京2011	男子	50kg級 60kg級 66kg級 81kg級 90kg級 90kg級 60kg級 66kg級 60kg級 66kg級 60kg級	5位 優勝 2位 優勝 優勝 3位 4位 4位 優勝 優勝 優勝	木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 小林雅司 (4年) 下和田翔平 (3年) 下和田翔平 (3年) 木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 山本浩史 (4年) 高上智史 (2年) 志々目徹 (2年)						
■陸上競技 (駅伝) ■フィンスイミング	第26回ユニバーシアード競技大会 第23回出雲全日本大学選抜駅伝 第43回全日本大学駅伝 第8回フィンスイミング日本学生選手権大会									男子	60kg級	優勝							
										■自転車競技	第26回ユニバーシアード競技大会 全日本選手権大会 (トラック)	女子	4×100mSF 3km個人追抜 ロードチームタイムトライアル 3km個人追抜	優勝 8位 5位 2位	田中まい (4年) 田中まい (4年) 田中まい (4年)				
		■水泳 (水球)	Water Polo Japan Challenge 2011 第26回ユニバーシアード競技大会									男子	優勝	5位					
												■水泳 (飛込) ■相撲	第26回ユニバーシアード競技大会 第89回全国学生相撲選手権大会 第60回全国大学選抜相撲高知大会 天皇杯第60回全日本相撲選手権 第1回全日本学生選抜相撲金沢大会 東日本学生リーグ戦	男子	3mシンクロノイズダイビング団体 個人 団体 個人 個人 個人 団体	5位 2位 優勝 優勝 2位 8位 優勝	坂井丞 (1年) 中村大輝 (1年) 滝田真 (2年) 吉田圭佑 (2年) 一之瀬康平 (2年) 滝田真 (2年)		
														■トランポリン	第48回全日本トランポリン競技選手権大会	男子	団体 団体 個人 団体 シンクロ シンクロ	優勝 5位 8位 2位 優勝 3位	田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 吉村祐太 (4年) 田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 田崎勝史 (2年)
																■軟式野球 ■バスケットボール	第17回女子軟式野球ジャパンカップ 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 入れ替え戦	女子	優勝
						男子	2部リーグ 1部昇格											優勝	
						■バレーボール	秋季関東大学バレーボールリーグ戦 第64回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 第58回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 第26回ユニバーシアード競技大会											男子	1部リーグ
				女子	2位														
				女子	2位														
女子	4位			岸本瞳 (4年) 中村亜友美 (3年)															
■ハンドボール	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会 関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会			男子	優勝 優勝 3位														
		女子	優勝 優勝 3位																
		■ライフセービング	第37回全日本ライフセービング選手権大会	男子	ビーチスプリント 2kmビーチラン			2位 5位 8位 4位 6位	宮森敬介 (4年) 石井雄大 (1年) 小泉寛高 (4年) 神戸浩樹 (3年) 鈴木友三朗 (1年)										
				女子	サーフレース ボードレース			8位 8位 6位 7位	宮崎翔平 (2年) 下山愛由 (4年) 佐伯芽維 (4年) 宮田沙依 (3年)										
					ビーチスプリント 2kmビーチラン			8位 6位 優勝 6位	田中亜由美 (4年) 佐伯芽維 (4年) 佐々木聡美 (4年) 國武あかね (4年)										
								レスキューチューブレスキュー ビーチリレー	8位 優勝 2位 3位	下山愛由 (4年) 井口裕太 (3年) 岡本大 (2年) 市川拓司 (1年) 小泉寛高 (4年) 森新太郎 (1年) 宮森敬介 (4年) 会田拓也 (1年) 竹井健太郎 (3年) 石井雄大 (1年) 佐藤昂亮 (4年) 沖野淳平 (3年) 高橋純 (4年) 岩井寛文 (1年)									
						■ラクロス	第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第24回関東学生ラクロスリーグ戦 第23回全日本学生チアリーディング選手権大会 第66回国民体育大会	男子	3位										
				女子				3位											
				■チアリーダー ■ウエイトリフティング	第66回国民体育大会 第56回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会			77kg級 105kg級 69kg級 77kg級	2位 優勝 優勝 4位	山本俊樹 (2年) 鈴木匠平 (4年) 竹内洋介 (2年) 平本衛治 (2年)									
								■柔道	全日本学生柔道体重別団体優勝大会 全日本学生柔道体重別選手権大会 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 柔道グランドスラム東京2011	男子	50kg級 60kg級 66kg級 81kg級 90kg級 90kg級 60kg級 66kg級 60kg級 66kg級 60kg級	5位 優勝 2位 優勝 優勝 3位 4位 4位 優勝 優勝 優勝	木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 小林雅司 (4年) 下和田翔平 (3年) 下和田翔平 (3年) 木戸慎二 (3年) 高上智史 (2年) 山本浩史 (4年) 高上智史 (2年) 志々目徹 (2年)						
■陸上競技 (駅伝) ■フィンスイミング	第26回ユニバーシアード競技大会 第23回出雲全日本大学選抜駅伝 第43回全日本大学駅伝 第8回フィンスイミング日本学生選手権大会									男子	60kg級	優勝							
										■自転車競技	第26回ユニバーシアード競技大会 全日本選手権大会 (トラック)	女子	4×100mSF 3km個人追抜 ロードチームタイムトライアル 3km個人追抜	優勝 8位 5位 2位	田中まい (4年) 田中まい (4年) 田中まい (4年)				
		■水泳 (水球)	Water Polo Japan Challenge 2011 第26回ユニバーシアード競技大会									男子	優勝	5位					
												■水泳 (飛込) ■相撲	第26回ユニバーシアード競技大会 第89回全国学生相撲選手権大会 第60回全国大学選抜相撲高知大会 天皇杯第60回全日本相撲選手権 第1回全日本学生選抜相撲金沢大会 東日本学生リーグ戦	男子	3mシンクロノイズダイビング団体 個人 団体 個人 個人 個人 団体	5位 2位 優勝 優勝 2位 8位 優勝	坂井丞 (1年) 中村大輝 (1年) 滝田真 (2年) 吉田圭佑 (2年) 一之瀬康平 (2年) 滝田真 (2年)		
														■トランポリン	第48回全日本トランポリン競技選手権大会	男子	団体 団体 個人 団体 シンクロ シンクロ	優勝 5位 8位 2位 優勝 3位	田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 吉村祐太 (4年) 田崎勝史 (2年) 坂本鷹志 (助教) 高橋和馬 (4年) 田崎勝史 (2年)
																■軟式野球 ■バスケットボール	第17回女子軟式野球ジャパンカップ 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 第87回関東大学バスケットボールリーグ戦 入れ替え戦	女子	優勝
						男子	2部リーグ 1部昇格											優勝	
						■バレーボール	秋季関東大学バレーボールリーグ戦 第64回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 第58回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 第26回ユニバーシアード競技大会											男子	1部リーグ
				女子	2位														
				女子	2位														
女子	4位			岸本瞳 (4年) 中村亜友美 (3年)															
■ハンドボール	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全日本学生選手権大会 関東学生ハンドボール秋季リーグ戦 全																		



「第89回全国学生相撲選手権大会」相撲部が団体戦で3年ぶり5回目の優勝!



来春、軟式野球部女子から初めての女子プロ野球選手誕生。
橋本ひかり(体育学科4年)



TOPICS

国際体操連盟(FIG)会長 ブルーノ・グランディ教授による特別講演会を実施しました

平成23年10月17日(月)、東京・世田谷キャンパスに国際体操連盟会長のブルーノ・グランディ教授をお招きし、「FIG会長が語る、体操の過去・現在・未来」と題した特別講演会を開催しました。グランディ教授は、冒頭、多くのメダリストを輩出してきた本学で講演できることよろこびを表明されました。講演では、体操の起源から現在に至るまでの技術の変化やそれに伴うルールの改定等の経緯と歴史について語られました。



TOPICS

日体フェスティバルが行われました

平成23年11月4日(金)～6日(日)に横浜・健志台キャンパスで第45回「日体フェスティバル」が行われました。「日体大 for JAPAN～元気・笑顔・共働～」をテーマとし、東日本大震災で被災された地域の復旧と復興のための支援活動の一環と、フェスティバルを通じての支援活動は日本を活性化させてゆける意味を込めて学生を中心に行いました。

フェスティバルではホームラン競争や体力・骨密度測定、テニス体験教室、アーチェリー体験教室など体育大ならではのスポーツを体験できるコーナーがとて賑わいを見せていました。模擬店では各部活が力作を販売、福島県名物「浪江やきそば」も販売され、大好評でした。



TOPICS

第50回体育研究発表実演会が開催されました

開催日	会場	来場者
11月18日	横浜アリーナ	12,000人
12月8日	鹿児島アリーナ	4,000人
12月10日	宮崎県体育館	2,000人
12月11日	熊本県立総合体育館	4,000人

第50回体育研究発表実演会テーマ「至極」が平成23年11月18日(金)に横浜アリーナにて開催されました。今年で第50回を迎えた実演会は横浜アリーナを満席にするほどの大盛況を見せました。また鹿児島、宮崎、熊本で行われた南九州大会でも本学の日頃の研究成果と演技をひと目みよう、各会場では多くの観客で埋め尽くされ、大成功を収めました。

開催にあたり、同窓会の皆様をはじめ、多くの関係者にご協力いただきましたことに深く感謝いたします。



●入試日程

一般入試B方式で受験機会が広がる!! 今からでも間に合う!

		体育学科	健康学科	武道学科	社会体育学科
B方式	出願期間	平成24年2月6日(月)～平成24年2月21日(火)			
	試験日	平成24年3月4日(日)			
	合否発表日	平成24年3月6日(火)			
	入学手続締切日	平成24年3月14日(水)			
B方式 筆記試験 300点	筆記試験	必須	国語(国語総合:古典を除く)		
	マークシート方式	選択※	英語(英語Ⅰ・Ⅱ) 数学(数学Ⅰ) ※2科目から1科目選択		

※お問い合わせ先 アドミッションセンター 045-963-7955(直通)

一般入試「B方式」
筆記のみで受験できる!

これまでの一般入試は、2月初旬の一度しかない状況でした。そこで3月初旬に筆記試験のみのB方式を新たに導入し、受験機会の拡大を図りました。なお、B方式は実技試験を課さないため、出願時に運動能力を確認するための「スポーツ調書」を提出していただきます。

[編集後記] 「スポーツ関連の仕事をしたい」と日体大に入学した学生、スポーツをしている人なら一度は思った事があると思います。今、私は高校生へ本学を説明するときに「将来何になりたいか」を質問しています。多くの人がスポーツ関連の仕事と漠然とした答えが返ってきます。私も在学当時はそう答えていました。その理由はスポーツ関連の仕事にはどういったものがあるのかといった情報が少ないからです。今回の学報で紹介したアナリストをはじめ、選手ではなくマネージャーとして働いている人、または私達のようにスポーツの情報を発信するといった仕事など、その道は多くあります。そんな人たちへ少しでも紹介できたらと願い、今号を作成しました。そんな夢を持つ人に更に伝えたいことは、「経験者」であることの大切さです。何かしらのスポーツに必死に取り組む事。その経験でしか得られない事が将来に繋がると思っています。